



はまなす季刊

医療法人はまなすHP ▶▶▶ <http://www.hamanasugeka.com>

医療法人
はまなす **篠路はまなすクリニック**

〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号
TEL (011)776-3030・FAX (011)776-3001

医療法人
はまなす **はまなす医院**

〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1
TEL (0133)64-6622・FAX (0133)64-6555

「雉も鳴かずば撮られまいに！」

はまなす医院から5分も歩くと農地が広がっており、散歩中にコウライキジを発見しました。「ケン、ケン」と羽を広げて鳴いた瞬間を捉えました。

2023年5月20日 工藤立史 撮影



巻頭言

外科研修医の

「働き方改革」

理事長 工藤 岳秋

私が新卒だった25年前、北大病院では朝6時出勤、午後11時退勤が外科医の標準でした。今も手術、休日回診、当直、緊急の呼び出し等で拘束が長時間に及ぶことは変わらないようです。

米国でも以前、外科の研修医は未明から深夜まで働き通しでした。20年前に日勤と夜勤が分業化され、その後、1年目の医師が16時間以上連続で勤務することが禁じられました。ただ、合併症の増加や専門医試験の合格率低下につながる側面もあるようです。

日本もようやく来春から、医師の時間外労働に上限が定められます。とはいえ研修医は年間1860時間で、段階的に縮減するとはいうものの、現状の追認にとどまりました。急激に医療水準が低下することを危惧したようにかがわれます。

時短だけでは研修の質が維持できません。外科の場合、早期に多くの手術に参加できるかどうかを将来を左右します。「働き方改革」の実現には、カルテ記載、文書作成、データ管理等をメデイカルクラークに任せると、診療や研究に集中するための仕組み作りも重要です。

Drug-coated Balloon

薬剤塗布バルーン ～ シェントPTAの新たな武器～

理事長 工藤 岳秋

血液透析は、腎臓の機能を人工的に肩代わりする治療です。週3回、3～4時間かけて、毎分150～250ミリリットルの血液から老廃物や水分を除去します。血液を血管から抜き出し、戻すための入り口がバスキュラーアクセス（以下アクセス）で、患者さんのライフラインとも言えるしくみです。

アクセスは外科手術で作製します。手首近くの動脈と静脈をつないで短絡させる「シャント」が基本です（図1）。近年、高齢化や糖尿病のため、元の血管が細く、発達しにくい患者さんが増加しており、動脈と静脈の間に人工血管を挿入してシャントを作製することもあります（図2）。

シャント静脈には動脈から圧の高い血液が直接流れ込むようになり、徐々に拡張します。血流が非生理的な上に、透析の度に繰り返し2本の針で穿刺されることで内膜が厚くなって、狭窄しやすくなると考えられています。狭窄が起きると血流量が不足し、透析の効率が低下します。血管内で血のかたまり（血栓）が生じて閉塞し、急に透析ができなくなることもあります。

狭窄に対する治療の第一選択は経皮的血管形成術（PTA*1）です（図3）。先端にバルーンの付いたカテーテルを血管内に挿入し、膨らませた圧力で血管を拡張する方法です。当院では毎年、150件以上行っています。

PTAを行っても、同じ範囲が短期間で繰り返し狭窄することがあります。以前は外科手術によってシャントを修復していましたが、2021年、薬剤塗布バルーン（DCB*2）が世に出たことによって、治療のアルゴリズムが変わりました。表面の「バクリタキセル」という薬剤を血管壁に押しつけて反応させ、再狭窄を抑制する仕組みになっています（図4）。標準的なPTAで治療された患者さんとの比較で、①より長期に開存すること、②再治療の回数が減少すること、が国際共同治験で示されました。

当院でも、このバルーンを今年4月までに3件で使用しました。過去1年間に5～7回もPTAを受けていた患者さんが、それぞれ5、4、3ヶ月を超えて無治療で経過しています。期待通りの結果であり、今後も存分に活用していきたいと考えています。

※保険適用となっているDCBは、日本メドトロニック株式会社「IN.PACT AV DCB」で、術者として用いるためには一定の経験が必要となります。私は透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会からVAIVT*3血管内治療医として認定を受けています。

図1 内シャント

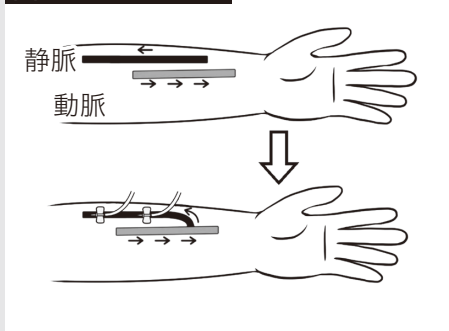


図2 人工血管移植

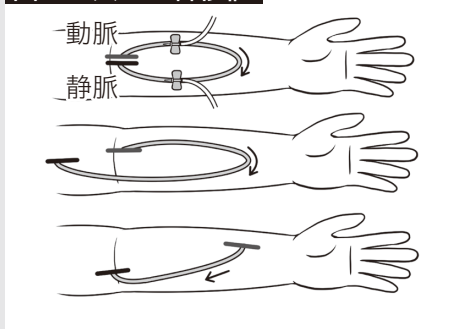


図3 PTA

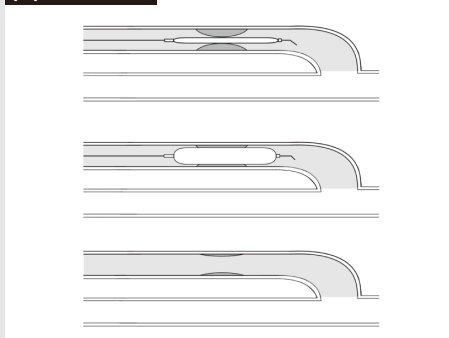
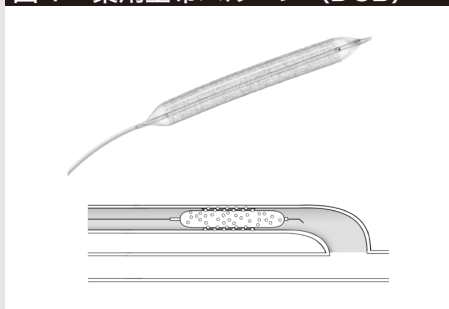


図4 薬剤塗布バルーン（DCB）



*1 Percutaneous transluminal angioplasty

*2 Drug-coated balloon

*3 Vascular access interventional therapy

コロナーダ、 カルロヴィ・ヴァリの思い出

副理事長 工藤 立史

磁器製容器の「スパカップ」はチェコを訪れた時の思い出の品です。温泉保養地として知られるカルロヴィ・ヴァリで買い求めたものでイラストのような独特の形をしています。底から出ているストロー状の取っ手が特徴で、73℃にもなる源泉を程よく冷まして飲むことができます。試してみると結構な熱さであやうくヤケドしかけたが、口の中に広がった硫黄の香りに温泉の雰囲気を感じられました。



カルロヴィ・ヴァリはチェコの西部、ドイツとの国境近くの古都です。14世紀、ボヘミア王カレル1世（のちの神聖ローマ帝国カール4世）が狩りの最中に偶然発見したことからカレルの温泉という意味あいがあります。

街の中には「コロナーダ」という無料飲泉施設があって、治療を目的にスパドクターと呼ばれる医師から飲み方の指示を受けるのが正式ですが、各自自由に飲む人も多いようです。

コロナーダは街に10数か所もあって、中には地上12mの高さに達する間欠泉もあります。公園の水飲み場といった雰囲気ですが、石造りの回廊やレース編みのような壁や中世の城郭を模したものなど芸術性豊かです。建物を眺めるだけで「湯めぐり」を満喫でき、蛇口から絶え間なく噴出する温泉水は自由に飲むことができます。また、温泉水を練りこんだ薄焼き煎餅「スパ・ワッフル」が名物になっており、私も焼き立てを味わいました。

コロナーダはカルロヴィ・ヴァリの街づくりをけん引してきたとことで、温泉は観光資源であるとともに市民の社交の場にもなっています。2021年には世界遺産に登録されました。買い求めてきたスパカップを眺めていると、あの中世の街並みの記憶がよみがえります。これからも変わらぬ姿を保ってほしいものです。



トップ対談

あさぶハート内科クリニック — 福島新院長に聞く —

「あさぶハート内科クリニック」は地下鉄麻生駅そばの循環器・消化器科のクリニックで2019年に開院しました。さらに本年4月、ここから徒歩5分のところ、サテライトとして「あさぶハート・心リハクリニック」が開院しています。外来に特化した心臓リハビリテーション施設としては道内初とのこと。この度、真新しいリハビリテーション施設を訪問し、お話をうかがってきました。

聞き手：医療法人はまなす副理事長 工藤立史

1. 麻生地区で開業しようと思った理由は、何でしょうか？

40年以上前に父が麻生地区で予備校を開校し、経営者として働く姿を幼い頃から見ていました。北大での臨床、教育、研究を経て、自分たちの理想の医療や地域貢献できる医療を提供したいと思い、メディカルモール開設のお話を機に、4年前に開業しました。

2. オンライン診療を先駆けで実践されていますね。

オンライン診療は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、開設しました。3ヶ月に1回は対面で診察していますが、遠方に住んでいるとか、仕事や家庭の都合で来られないという患者さんにとって、気軽に医

療につながるようになるものと考えています。新たな診療スタイルとして確立しつつあります。

3. 2014年にカナダへ留学されています。現地で印象に残っているエピソードなどありますか？

エドモントンのアルバータ大学に留学していました。現地で3人目の子供が生まれたのですが日本と勝手が違うので苦労しました。私は学生時代アイスホッケー部に所属しており、本場カナダでもアイスホッケーを楽しんだり、家族で気軽にスケートに行けたりしたのが良い思い出です。

4. 心臓リハビリテーションとはどのようなものですか？

心血管疾患を発症した患者さんの症状軽減、運動能力の向上、生命予後の延長を目的としたリハビリテーションです。近年心不全の入院期間が短縮しており、退院した際に運動能力が十分回復していないことが多く、リハビリを必要とします。リハビリ通院のための送迎サービスも行っています。

5. 早期の心疾患を見逃さないために、何が重要だとお考えでしょうか？

高血圧、糖尿病など生活習慣病の患者さんの心機能をエコーで細やかにみるようにしています。この度『あさぶハート・メディカルフィットネス』というフィットネス施設も併設しました。身体能力チェックと体組成測定、心肺運動負荷検査により、個々の運動能力、筋量を測定し、患者様一人ひとりに合わせた運動・



食事メニューを提案しています。心疾患を未然に防ぐことにつながると考えています。

◎対談を終えて

平日の夕方にもかかわらず、時間をかけて取材に応じていただき、施設案内もして下さいました。リハビリ施設が5階で見晴らしがよく、全面ガラス張りで開放感がありました。院長の心臓リハビリテーションへの熱意が伝わってくる建物でした。本院の方には、はまなす医院からも患者さんを紹介させていただいており、大変お世話になっております。ますますのご発展を祈念いたします。

ふくしま あらた 福島 新先生 略歴

札幌市出身。2003年北海道大学医学部卒。2008年に北海道大学大学院博士課程へ進学し医学博士を取得。2014年にはカナダのアルバータ大学へ留学。北海道大病院循環器内科元助教。日本循環器学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、心臓リハビリテーション指導士（評議員）等。

あさぶハート・内科クリニック

〒001-0040
札幌市北区北40条西4丁目1番1号
ASABU LAND 1階メディカルモール内
電話 011-374-7667・FAX 011-374-7702

あさぶハート・心リハクリニック

〒001-0037
札幌市北区北37条西3丁目3-12
電話 011-792-0222・FAX 011-792-0236

篠路はまなすクリニック 感染対策の勉強会を 開催しました

臨床工学技士 野口 公貴

コロナ禍で書面や動画視聴で行っていた院内勉強会ですが、新型コロナの5類感染症移行で当院でもようやく対面での講演会を実施することができました。6月29日、北海道医療大学病院より、感染管理認定看護師の村上和良子氏をお招きしました。

本勉強会では新型コロナの5類感染症移行によってどの程度対応を変更し、制限の緩和をして行くべきかを中心にお話して頂きました。以下にお話の内容を要約します。

医療機関側としては、制限の緩和によってクラスター発生を誘引して診療に影響が出る恐れがあるため原則として今まで通り対応することが基本となります。

当院を利用される方々への変更すべき点として院内への立入り制限、入院患者様への面会時の人数・時間の制限などは徐々に緩和していくことが推奨されています。

また特に気になるマスク着用に関してですが、透析患者様はコロナ重症化のリスクが高いため、自分の身を守るために院内でのマスク着用の継続をお願いしております。5類感染症移行により社会活動がより活発になり無症状の感染者といつどこで接触するかわかりません。またほかに感染を広げないという周りへの配慮のためにもマスクは必要です。

そして何より予防で一番大事な手指衛生を心掛けるようにしましょう。



「コロナ」でのびのびになっていた

歓迎会が開かれました



医事・総務



7月8日(土)、医事課・辻村さん、総務・永田さんの歓迎会を「鳥太郎 札幌駅北口店」で行いました。

辻村さんは2年前、永田さんは3年前に入職しているので、歓迎会というよりは親睦会の様な終始賑やかで楽しい会となりました。(袋田)

はまなす医院
透析室



6月24日(土)、「彩屋札幌駅前店」で臨床工学技士島田さんと看護助手 佐伯さんの歓迎会を行いました。コロナ禍のため数年ぶりの宴会でもあり、理事2名、スタッフ17名の参加で大いに盛り上がりました。(坂本)

回想 太陽の沈まない国



はまなす医院 放射線技師 主任 菅原 次郎

2004年、イギリスに語学勉強を目的としたホームステイをしていたことがあります。約半年間ではありましたが、その時の思い出話をしたいと思います。

まずは、大英博物館。当初は知識がなく1日で回れると思っていたのですが、展示物の多さに結局滞在中計8回ほど足を運ぶことになりました。大英帝国時代に広く収集された約800万点の常設コレクションに圧倒されながらも私の中で一番思い出に残っている展示物は、ロゼッタ・ストーンでした。ロゼッタ・ストーンはエジプトのロゼッタで1799年に発見された石柱で、碑文は古代エジプト語の神聖文字（ヒエログリフ）と民衆文字（デモティック）、ギリシア文字の、3種類の文字が刻まれている、古代エジプト語の解読を可能にする元となったものです。現在はガラスで保護されているようですが、当時は直接手で触ることができ、私ももちろん本物に触れ貴重な体験をすることができました。

余談ですが、博物館は創設以来、基本的に入場料は無料（入口に募金箱あり入場料代わりにお金をいれる形式です）ということで、学生の身分の私としては気軽に足を運び、英文での説明を読む事で語学の勉強にもなり本当にありがたかったです。

ここからはステイ先での話になりますが、まずは生活習慣の違いではありますが、向こうはほとんど入浴の習慣がなく基本的には毎日シャワーで済ませていたため、お風呂には入ってゆっくり疲れをとるなんていう日本にいると当たり前な事が半年間できず、そのことはカルチャーショックでした。しかも一人3分（時間との勝負）までと決められています。その中で全てを済ませなければならないので一苦勞でした。

あとは食事についてですが、イギリスは基本ポテト料理が主体で、約半年はほぼポテトばかり食べていました。日本人の私としては日本食が恋しくて帰国後日本の空港でまず真っ先に出汁のきいたうどんを食べたことが思い出されます。とは言え、イギリスで食べたフィッシュ&チップスは本当に美味しくて、その後日本でもレストランなどで見かけると頼んでみたりしましたが、やはり本場で食べたものとは比べ物になりません。またいつか是非イギリスで食べたいと思っています。

また、イギリスにはカフェやパブが多く学校から帰った後は、行きつけのカフェで多国籍の学友とコーヒーを飲みながら語り合った事も思い出されます。ちょうど私が滞在した季節は春から夏にかけての昼が長い季節（白夜）だったので、夜の9時頃まで外は明るく陽が長くて、かなり大きめのカップにたっぷり注がれたコーヒーで何時間もそこで他愛もない話をしていました（勿論会話は全て英語ですよ）。そのカフェでは、最後の日に店員に帰国することを伝えるとそのお店の大きなマグカップをプレゼントしてくれました。イギリスの思い出と共に今でも大切にに使わせてもらっています。

イギリスは日本からは約12時間のフライトとなり、気軽に行くことはできませんが、または是非もう一度今度は家族旅行で行ってみたいなと思っています。

アドーニスとアネモネの花

この春アネモネの苗を買ったことからネットなどの知識を頼りにこの花にまつわるストーリーをまとめてみた。
アネモネにまつわる話をするにはまずアドーニスに触れなければならない。

フェニキアの王女ミュラーはとても美しかった。

あるとき一族の誰かが「ミュラーはアプロディーテよりも美しい」と話していた。それを聞いたアプロディーテは激怒してミュラーが父のキニユラスを恋するようにしむける。ミュラーは乳母の手引きで顔を隠してキニユラスと一夜を過ごす。だが、明るくなって娘であることに気がついたキニユラスは彼女を殺そうとする。その手をのがれてミュラーはアラビアへと逃げのびる。

ミュラーを哀れに思った神々は、彼女をミルラの木に変える。やがて、その木に猪がぶつかり、木は裂け、その中からアドーニスが生まれた。ところが生まれたばかりのアドーニスにアプロディーテが恋をしてしまう。アプロディーテは赤ん坊のアドーニスを箱の中に入れて冥府の女王のペルセポネーの所に預け、箱の中を見るなど注意しておいた。なのに好奇心に負けてペルセポネーは箱を開けてしまう。中には美しい男の赤ん坊のアドーニスが入れられていた。この瞬間ペルセポネーもアドーニスを恋してしまう。その後アドーニスはしばらくペルセポネーが養育すること

になった。

やがてアドーニスが少年に成長し、アプロディーテが迎えにやって来た。しかし、ペルセポネーはアドーニスを渡したくなくなっていた。2人の女神は争いになり、ついに天界の裁判所で全能の神ゼウスに審判を委ねることにした。その結果、1年を3つに分けて、3分の1ずつをアプロディーテとペルセポネーと過ごし、残りの3分の1はアドーニス自身の自由にさせるということになった。しかし、アドーニスは自分の自由になる期間もアプロディーテと共に過ごすことを望んだことから、ペルセポネーは大いに不満だった。

アドーニスは狩りが好きで、毎日熱中していた。アドーニスが自分よりもアプロディーテを選んだことが気に入らなかったペルセポネーは、アプロディーテの恋人である軍神アレースに「あなたの恋人は、あなたを差し置いて、たかが人間に夢中になっている」と告げ口をする。これに腹を立てたアレースは、アドーニスが狩りをしている最中、猪に化けて彼を殺してしまう。アドーニスの流した血からアネモネの花が芽生えた。



アドーニスは元来非ギリシア系の神話の人物で、フェニキア神話では植物の神である。アドーニスは収穫の秋に死んでまた春によみがえってくる。アプロディーテが冥府の女王ペルセポネーとアドーニスを分かつのは、植物の栄える春夏と枯れて死ぬ冬との区別であるという。

アネモネをプランタに植え付けてはみたものの生態がよく分からない。土壌は酸性がいいのかアルカリ性なのか。水やりの頻度は？肥料としては美少年の生き血を与えるのがいいのかもしれないがそうなたらかなりコワイ。植物分類の上でアドーニスはフクジュソウ属を指し、アネモネはボタンイチゲの和名を持つ。どこか謎めいた花たちである。

スタッフの紹介をします

篠路はまなすクリニックが透析センターだけの時から勤務している、はまなす15年目の看護師、松井かなえ主任からお話を伺いました。

入職した1番のきっかけは自宅からの近さ、当時は徒歩3分の距離でした。子供が欲しかったので育児休業が取得できるというのも大きな理由でした。当時、透析は未経験でしたが、周りは優しいスタッフばかりで、色々助けて頂いたのを覚えています。

はまなすに入職して忘れられない出来事と言えば、4年前の胆振東部地震でのブラックアウト、そしてコロナのクラスター。精神的、体力的にも非常に辛く、スタッフ一同で乗り越える事が出来た時の安堵感は忘れられません。

今後も常にアンテナをはり、患者さんが安心して透析が受けられる様な看護を提供していきたいと思います。



今では、透析室で指導していく立場となった松井主任です。一児の母となりましたが、当時と変わらぬスレンダーなスタイルに憧れます。これからも様々な経験を活かし、患者さんやスタッフの頼もしい存在であってほしいと思います。

(総務主任 袋田 美樹)

Rose Garden ~ ローズガーデン ~



お疲れさまでした

病棟看護師の原洋美さんが退職となりました。約6年間一緒に働いてきた仲間として寂しい気持ちもありますが次のステージでも頑張ってください！

(原明美)



新入職員紹介



篠路はまなすクリニック
庶務 佐々木 和繁さん



篠路はまなすクリニック
庶務 山崎 健一さん

編集後記

先日、娘(中2)の中体連が終わりました。目標としていた結果は得られませんでした。先輩達の奮闘する姿、感動し涙しました。いよいよ娘の代になります。悔いのない様、全力で取り組んで欲しいです。来年は嬉し涙を流したい！！母もサポート頑張るぞ！ (M・H)